

特別討論会 -危機的出血に対する輸血療法を考える-

主催：日本輸血・細胞治療学会

日時：2020年12月26日(土) 13:30~16:00

オンライン開催（オンライン基地：「TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口」）

司会 大戸 齊（福島県立医科大学）

池田 智明（三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座産科婦人科学）

演者（各10分、クイック討論のみ）

1) 「第1回及び第2回の議論で得られた合意に基づく決議について」

大戸 齊（福島県立医科大学）

※大戸先生の呼びかけで故大平勝美氏に対する黙祷

2) 「患者から見たフィブリノゲン製剤とは（仮）」

花井 十伍（厚生労働省血液事業部会委員、ネットワーク<医療と人権>）

3) 「第1回及び第2回の決議を受けた国会質疑における行政との合意形成について」

秋野 公造（公明党参議院議員）

4) 「第1回及び第2回の決議及び国会質疑を受けた未承認薬適応外薬検討会議における議論について」

厚生労働省医薬・生活衛生局審査管理課

総合討論(1) (20分)・・・患者の懸念について整理

演者（各10分、クイック討論のみ）

5) 「産婦人科領域におけるフィブリノゲン製剤の必要性について（仮）」

牧野 真太郎（順天堂大学大学院医学研究科産婦人科学）

6) 「心臓大血管外科手術におけるフィブリノゲン製剤を用いた今後の研究について（仮）」

碓氷 章彦（名古屋大学,医学系研究科,心臓血管外科学）

総合討論(2) (25分)

7) 「大会決議及び特別発言」

松下 正（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

8) 御礼 故大平勝美氏ご夫人